

えどがわ 区議会 だより

令和6年第2回定例会号

発行
江戸川区議会

<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

私立保育園施設整備助成費 等を含む補正予算を可決

第2回定例会の流れ

本会議（提案）



6/12

■区長提出議案15件の説明⇒審査のため総務委員会へ付託
■報告案件6件の説明⇒了承

6/17

■施策等に関し議員5人が質問

6/19

■施策等に関し議員8人が質問

委員会（審査）



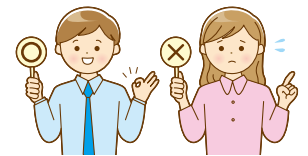
6/20

■総務委員会議案審査（質疑、意見表明⇒可否の決定）

6/21

■各常任委員会陳情審査（資料要求）

本会議（決定）



6/28

■委員会での議案の審査経過と結果の報告⇒討論⇒可否の決定
■委員会での請願・陳情の審査経過と結果の報告⇒可否の決定
■議員提出議案
・条例の説明⇒閉会中の継続審査
・意見書の説明⇒可否の決定
■定例会閉会后、次の定例会が開会するまでの閉会中の期間も委員会活動ができるように決定

令和6年6月12日から6月28日までの17日間の会期で開かれました。

- ✦13人の議員が区政の課題について、区長に質問を行いました。
- ✦区長から議案15件、報告6件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
- ✦議員が提出した議案2件は、条例1件は継続審査となり、意見書1件は可決されました。意見書は各関係機関に送付しました。
- ✦この定例会の会議録は、9月下旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

新しい議会の構成が決まりました！

令和6年7月16日 現在

常任委員会 ◎委員長 ○副委員長

総務 委員会



◎高木ひでたか
自由民主党



○中道たかし
公明党



小林ともお
自由民主党



小林あすか
無所属の会



伊藤ひとみ
超党えどがわ



野崎まこと
自由民主党



小俣のり子
日本共産党



笹本ひさし
超党えどがわ



関根まみ子
公明党

生活振興 環境委員会



◎所たかひろ
公明党



○岩田まさかず
自由民主党



田村ひろし
超党えどがわ



滝沢やすこ
無所属



川合さなこ
公明党



大橋美枝子
日本共産党



金井しげる
無所属の会



川瀬やすのり
公明党



須賀精二
自由民主党

福祉健康 委員会



◎堀江そういち
公明党



○本西みつえ
超党えどがわ



五十嵐まさお
無所属



丸山れいこ
日本維新の会



佐野ともこ
公明党



佐々木ゆういち
公明党



田島寛之
自由民主党



間宮由美
無所属の会



ふじさわ進一
自由民主党

文教 委員会



◎福本みつひろ
自由民主党



○伊藤てる子
公明党



林あきこ
日本維新の会



勝山まゆみ
自由民主党



太田あやか
日本共産党



きもと麻由
超党えどがわ



しかくら勇
自由民主党



ます秀行
無所属の会



くぼた龍一
公明党

建設 委員会



◎田中寿一
自由民主党



○竹内すすむ
公明党



中野ヘンリ
超党えどがわ



金井高志
自由民主党



牧野けんじ
日本共産党



神尾てるあき
無所属の会



太田きみひろ
公明党



島村和成
自由民主党

各種委員会の構成

議長…ふじさわ進一 副議長…くぼた龍一

委員会名	議会運営委員会	特 別 委 員 会			
		行財政改革・SDGs推進	災害対策・街づくり推進	健康推進・熟年者支援	子ども支援・教育力向上
委員長	島村 和成	佐々木 ゆういち	須賀 精二	川瀬 やすのり	田島 寛之
副委員長	関根 まみ子	神尾 てるあき	牧野 けんじ	笹本 ひさし	小林 あすか
委 員	小林 ともお	五十嵐 まさお	田村 ひろし	丸山 れいこ	中野 ヘンリ
	金井 高志	林 あきこ	小林 ともお	勝山 まゆみ	林 あきこ
	牧野 けんじ	きもと 麻由	金井 高志	金井 高志	勝山 まゆみ
	小林 あすか	川合 さなこ	本西 みつえ	太田 あやか	小林 ともお
	所 たかひろ	しかくら 勇	滝沢 やすこ	佐野 ともこ	本西 みつえ
	伊藤 ひとみ	間宮 由美	川合 さなこ	所 たかひろ	佐野 ともこ
	間宮 由美	田中 寿一	ます 秀行	伊藤 ひとみ	佐々木 ゆういち
	堀江 そういち	小俣 のり子	岩田 まさかず	金井 しげる	大橋 美枝子
	岩田 まさかず	竹内 すすむ	伊藤 てる子	関根 まみ子	堀江 そういち
	田中 寿一	高木 ひでたか	中道 たかし	福本 みつひろ	島村 和成
	小俣 のり子				
	笹本 ひさし				
	中道 たかし				

議員選出監査委員 野崎 まこと議員 太田 きみひろ議員

第1回臨時会の概要



令和6年第1回臨時会は5月24日から27日の4日間の会期で開かれました。

- 任期満了に伴う常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任と、一部辞任による特別委員会委員の選任が行われました。
- 区長から議案1件、報告2件が提出され、議案は原案のとおり可決されました。

区長から提出された議案

- 議案
 - ・令和6年度江戸川区一般会計補正予算（第3号）
- 報告
 - ・専決処分した事件の報告及び承認について 令和6年度江戸川区一般会計補正予算（第2号）
 - ・専決処分した事件の報告及び承認について 江戸川区特別区税条例の一部を改正する条例

江戸川区議会議員名簿

【◎幹事長 ☆団長 ○副幹事長 □副団長 △幹事】

7月16日現在

氏 名	会 派	電話番号	連 絡 所
◎：島村 和成	自 民	090-4827-3118	平井5-51-12
○：田中 寿一	自 民	5679-0413	船堀3-1-3
△：金井 高志	自 民	6661-4724	北葛西1-12-11 7F 102
△：小林 ともお	自 民	5879-7000	南篠崎町2-40-7 1F 202
勝山 まゆみ	自 民	5607-7851	松島2-8-2-101
田島 寛之	自 民	3679-1261	鹿骨1-38-15
しかくら 勇	自 民	3616-5851	平井7-14-19
岩田まさかず	自 民	090-5438-4998	篠崎町7-3-10 ボナール・M101
野崎 まこと	自 民	3869-8125	西葛西6-8-13-2F
福本みつひろ	自 民	3877-0541	東葛西8-7-33
高木ひでたか	自 民	5661-4608	一之江5-30-8
ふじさわ進一	自 民	3658-0783	南小岩6-28-11
須賀 精二	自 民	3679-4477	江戸川2-33-17
☆：川瀬やすのり	公 明	5636-5530	江戸川2-6-26
□：竹内 すすむ	公 明	3652-6798	松江3-14-19
◎：関根 まみ子	公 明	3869-0978	一之江7-11-25
○：堀江そういち	公 明	3658-8597	西小岩2-17-1-603
○：中道 たかし	公 明	5607-0835	大杉1-1-1-703
○：伊藤 てる子	公 明	6903-7742	中葛西5-2-7-309
○：所 たかひろ	公 明	3670-0334	新堀1-13-7
○：佐々木ゆういち	公 明	5605-9262	北葛西5-4-15
佐野 ともこ	公 明	3658-7694	東小岩3-19-17 1F 小岩駅西口 404

氏 名	会 派	電話番号	連 絡 所
川合 さなこ	公 明	6337-0489	篠崎町2-7-1-603 イ・ストリーム篠崎
太田きみひろ	公 明	6657-2641	平井6-33-18 ディクレ平井102
くぼた 龍一	公 明	080-1242-1642	中葛西2-26-10-1005
◎：笹本 ひさし	超 党	5668-2636	北小岩6-12-1-303
○：本西 みつえ	超 党	5607-5975	東小松川3-35-13-205
○：中野 ヘンリ	超 党	3659-1756	西葛西8-3-11-102
△：きもと 麻由	超 党	6240-5850	船堀4-15-11
△：伊藤 ひとみ	超 党	5607-5975	中葛西3-17-4-702
△：田村 ひろし	超 党	090-3689-5133	中央4-1-13-202
◎：小林 あすか	無 会	3651-8300	一之江6-10-24
○：間宮 由美	無 会	6231-5200	松江3-11-15
△：神尾てるあき	無 会	5243-8311	春江町3-32-3
△：金井 しげる	無 会	090-2656-9152	南小岩3-15-20
△：ます 秀行	無 会	6662-7890	西葛西6-16-4-5F 櫛武田工業内
◎：小俣 のり子	共 産	3655-4422	中央2-7-5
○：牧野 けんじ	共 産	5876-8765	東小岩5-12-18
△：大橋 美枝子	共 産	5674-3753	中葛西8-6-2
太田 あやか	共 産	3637-4050	平井2-17-3
◎：丸山 れいこ	維 新	3676-3043	西瑞江3-22-79
○：林 あきこ	維 新	070-4095-9773	西葛西7-23-10-201
滝沢 やすこ	無所属	5609-8111	平井2-24-3
五十嵐まさお	無所属	090-9812-2641	南葛西1-1-1-904

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、超党…超党えどがわ、無会…無所属の会、共産…日本共産党、維新…日本維新の会、無所属…無所属議員（会派を組まない議員のことを「無所属議員」と呼んでいます）

区政への質問

6月17日に代表質問、19日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードを読み込むと、各議員の質問映像がご覧いただけます。

代表質問



新しい魅力と安心の向上で
「選ばれるまち」江戸川区へ

自由民主党
田中 寿一



問 船堀駅周辺のまちづくりについて。

①船堀駅前地区高台まちづくりは、災害に強いだけでなく、まちの賑わいの創出に向けた利便性や回遊性向上の視点を持って進めていくべきである。そのため、歩行者デッキを新庁舎から船堀駅までを一体的に繋ぐものとして整備すべきと考えるが、区長の所見を。

②再開発事業で大規模な空間が創出される千載一遇の契機を区はどのように捉え、多くの人を呼び込む、新しい賑わいと魅力に溢れた江戸川区を実現していくのか。

答 ①高台まちづくりは、水害時に有効に機能するだけでなく、平時においても地域の賑わいに資することを目指している。現在、歩行者デッキと船堀駅の接続について東京都交通局と協議を行っており、歩行者デッキの機能強化のため接続の実現に向けて取り組んでいく。

②この千載一遇の機会にこれまでの公共施設の枠にとらわれず、文化・交流の拠点としての機能を持った多くの人が集える場を創設することで、まちの魅力を向上させていきたい。今後は、新しいスタイルの図書館を含む複合施設の検討を進めていく。

問 「江戸川区立図書館基本計画」の実現に向けて。

①図書館の基本的な機能だけでなく、様々な機能を有した、国内外から高い評価を得ることができる未来を担う次世代の図書館の姿を創り上げていくべきと考えるが、区長の所見を。

②老朽化の進む地域図書館の今後について、どのように取り組んでいくのか。

答 ①国内外の先進事例や、図書館基本計画検討委員会での意見を踏まえ、多くの方に愛され、区の内外から人が集まる図書館を目指していきたい。今後は、図書館の新しいサービスの実現に向け取り組んでいく。

②区内にバランスよく図書館を設置するには老朽化した図書館の建て替えが必要である。建て替え時は規模や機能、地域の実情をみて個別に対応するとともに、民間の資源や活力等を活用し行政と民間が連携した図書館を検討していく。

問 介護に関わる人材について。

①介護・福祉人材緊急確保・定着奨励金事業の実績と効果を検証し、人材確保と定着、やりがいにつながる施策展開を求めるが、区長の所見を。



介護に関わる人材について

②安定的なケアマネジャーの確保に向け、処遇改善と業務負担の軽減、潜在的人材へのアプ

ローチ、区の支援事業やケアマネジャーという職業そのものの魅力を幅広く伝えていく取り組みが必要と考えるが、区長の所見を。

答 ①介護・福祉人材緊急確保・定着奨励金事業だけでは離職率の低減には繋がらず、今年度から介護福祉士育成給付金事業において対象者の拡充を行った。今後は、既存事業の実績や効果の検証に基づく見直しを図り、新たな人材の確保・定着に向け多角的に検討していく。

②処遇改善は、全国市長会を通じて引き続き国に要望していく。また本区では、資格取得等の費用助成や主任ケアマネジャーへの支援を行うとともに、関係団体と協力して魅力発信等について検討していく。

問 災害時における食の提供体制整備の一環として、区立学校施設に炊き出し等のための環境を充実させるべきと考えるが、区長の所見を。

答 災害時はお互いに協力し合う環境づくりが大切であり、特に炊き出しを行いやすくすることは有用な取り組みだと考える。今後、給食室を含めた施設の活用に前向きに取り組んでいく。

問 10年の節目を迎えた本区独自の読書科の成果と、特徴を活かした教育展開を今後どのように推し進めていくのか、教育長の所見を。

答 コンクール等への出品数の増加や国立教育政策研究所から取り組みが高く評価された。今後も読書や全校への新聞配布を有効活用し、学力向上と児童生徒の探求的な学びの継続、積極的に学び続ける態度を養っていきたい。



船堀に多機能で進化する
図書館の早期実現を!!

公明党
竹内 すすむ



問 新庁舎における協働・交流ゾーンの在り方と目指す姿の実現に向けた取り組みについて。

答 訪れやすく多様な機能を持つ情報発信の場になるよう執務室から独立した空間・機能を備えた設計にした。その空間や機能を活かした運営方法と賑わいに繋がる取り組みを検討する。

問 多機能で多様な人々が集まる、進化する図書館の具現化について、早期の実現を。

答 全ての人と人々を繋ぐ地域の情報拠点として、誰からも愛される図書館を目指していく。

問 船堀駅周辺高台まちづくりについて、歩行者デッキで接続される3施設の災害時の役割と、デッキを駅まで直結すべき。葛西南部地区への避難路となる中川の堤防の整備状況について。

答 新庁舎は災害対応の中核を担い、2施設は待避スペースの活用等検討している。デッキの駅への接続は都と協議したい。中川堤防の避難ルート確保早期実現に向け都と事業を推進する。

問 「Edogawa Beer Project」の立ち上げにあたっての思いと、プロジェクトの肝について。

答 就労機会の確保等課題解決の一助にしたいと立ち上げた。様々な方と関わりながら「ともに生きるまち」の理念を体現化した事業にしたい。

問 大規模災害時の広域避難の現状における課題認識と、区が推進する広域避難先の進捗は。

答 区民の自主的な広域避難と、要支援者の安全な避難の実現が課題である。国・民間14団体と広域避難に関する協定を締結しており、引き続き都と連携して広域避難先を拡大したい。

問 地域防災力向上のため、今後も区民に気象防災アドバイザーの存在感を示していくべき。

答 今後も本区に特化した気候変動情報の積極的な発信が存在感を一層大きくすると考える。

問 こどもの城の開設に向けた構想と、区長が込める思いについて。

答 区民基礎調査等も踏まえ、本区らしいこどもの城に向けて様々な角度から構想を練りたい。

問 認可外保育施設への利用者支援拡大と、安全な環境の維持等、保育の質を担保する支援を。



保育施設の利用者支援拡大と、保育の質の担保について

答 負担軽減補助の対象を認可外保育施設や企業主導型保育施設の利用児童に拡大した。子どもの性被害防止対策の支援と保育士の研修受講の支援により安全安心な保育環境を整えたい。

問 国道14号線電戸小松川立体化事業の進捗と計画は。新小松川橋にエレベーター設置を。

答 国ではI期区間6車線化道路拡幅のため用地買収・道路整備を進めている。エレベーター設置はバリアフリーを視野に国と話し合いたい。



地方自治法の改正、女性支援新法
プラスチックの削減

超党えどがわ
伊藤 ひとみ



問 地方自治法の改正について。

①本改正において、閣議決定のみで国が地方公共団体への指示を認めることは、地方自治の本旨にそぐわず法定主義を蔑ろにした国会軽視、民主主義の後退ともとれる事態である。自治体議会を含めて市民とともに議論するべきで、法で規定すべきではない。強化すべきは国の権限ではなく地方の自治機能であると考えているが地方自治をどのように捉えているのか。

②区として自治を守るという姿勢を堅持し、表明してほしいと考えるが「補充的指示」についての考えを。

答 ①先人達の努力により、憲法や地方自治が掲げる「地方自治の本旨」が実現されてきたと認識している。本区の抱える様々な課題に対し、区民の声と財政の持続可能性を踏まえながら自主性を発揮することこそ「地方自治」であると捉えており、今後も実践していく。

②本改正に伴う国の指示は、要件と手続きが定められた補充的なものであり、地方分権の原則は維持されると認識している。

問 困難な問題を抱える女性への支援について。

①女性支援新法を踏まえ、人権・男女共同参画推進センターの体制をどのように整えるのか。

②支援の充実を図るため、現在の生活水準に合わせた母子生活支援施設の建て替えを。



母子生活支援施設の建て替えについて

③女性支援新法で努力義務とされる、基本計画の策定と支援調整会議を設置すべきと考えるが。

答 ①人権施策と女性施策を一本化し指示系統を明確にした。今後は、情報発信力の強化と、相談対応能力の向上を主眼としていく。

②母子が安心して自立に向けた生活が送れるよう、時代に合わせた環境整備を目指していく。

③男女共同参画推進計画との一体性を考慮しながら計画策定を検討していく。また、支援調整会議の設置は関係機関との連携を重視し、支援の在り方等の検討が必要だと考えている。

問 公共施設から流出するプラスチックの削減に向けて。

①カーボンマイナスを宣言している区が人工芝を採用することに疑問をもつ。人工芝は劣化により化学物質が発生し、環境や人体、特に子どもの成長に影響を与える。また、専用のフィルターを使用しても流出は避けられない。人工芝の採用の理由と張替えや流出対策への考えを。

②子どもの健康を第一に考え、悪影響のあるものは「使用しない」とすべき。校庭整備への考え方を伺うとともに、指針の策定を求める。

答 ①人工芝はメンテナンスが容易で多くの方に運動の機会を提供できる。張替えは概ね10年だが劣化の状態に合わせメンテナンスを行っている。引き続き流出対策等、環境に配慮した取り組みを進めていく。

②学校の敷地は個々に状況が異なるため、校庭整備の指針は周辺環境や立地条件、児童生徒への教育的効果や学校運営、施設管理面を考慮し、引き続き研究を行い、より良い環境整備を図る。



横断歩道で止まってくれた車に挨拶と笑顔

無所属の会
神尾 てるあき



問 友好都市・姉妹都市・交流都市の若者同士の取り組みを目の当たりにし、都市交流を更に進めるためには、若い世代の力が重要であるとする。各都市との連携を更に強固で実効性のあるものにするため、若者の力を活用する取り組みが必要と考えるが、区長の所見を。

答 各都市との交流は、相互都市の発展や住民文化の向上のため、スポーツ・文化・教育等様々な分野で幅広い世代に渡って行われ、現在は行政間の連携だけでなく住民間の交流も深まっている。今後も無理なく自然体での付き合いを継続し、友好関係を深めながら、若い力を活用した交流が更に広がるような応援をしていきたい。

問 子ども達の健全育成やスポーツ振興の観点からも、十分な広さがあり、必要な安全対策がとられている場合は、公園でのボール遊びを解禁してもよいのでは。また、公園は様々な世代が個々の目的で利用するため、公共の場所でのマナーや他者への配慮を学ぶ機会としては最適な場であるとする。必要な安全対策を講じた上で、公園の規制を緩和し、より自由に利用できる公園の整備を要望するが、区長の所見を。

答 規制がない公園が理想だが、小さい子ども達や近隣住民との共存のため規制せざるを得ない状況である。江戸川区みどりの基本計画の中の「みんなのこうえん」では、地域住民を中心に公園の維持管理や運営、利用ルールの作成を行うことで、より使いやすく魅力的な公園づくりを進め、地域コミュニティの活性化に寄与

することを目指している。この取り組みが区内全域に浸透することで、現在公園で禁止されている遊び等も地域によるルールにより緩和されることが考えられる。今後、町会や商店街等の地域の皆様に話し合いを推進していただきたい。

問 横断歩道で止まってくれた運転手に笑顔で挨拶をすることで、運転手は「止まってよかった、次も止まろう」と思えるとともに、止まってもらった経験がある子どもは大人になっても「自分も横断歩道で止まろう」という意識になり、交通事故発生への減少に繋がる。学校教育において、横断歩道を渡る際、止まってくれた車に挨拶と笑顔をおくる活動を実施することを期待するが。



止まってくれた車に挨拶と笑顔をおくる活動について

答 現在、交通安全教室や自転車運転免許教室では自分の身を守るだけでなく、歩行者への配慮や自動車の運転手へのアイコンタクト等、互いを意識することの大切さを学ぶ教育が行われている。ルールを守り続けていけるように「感謝」を伝え合うことで「思いやり」の心も醸成されていくと考える。今後も、大切な子ども達の命を守るため安全指導を徹底していきたい。



**地方自治法改定は問題あり
小1支援員・義務教育無償化を**

日本共産党
大橋 美枝子



問 地方自治法改定案について。

①地方自治と改定案について、区長の考えを。
②改定について国から事前説明はあったのか。

答 ①国と地方は対等で役割分担のもと連携し、法や制度等が適用されることで成り立っている。改正案は適切運用であれば問題ないとする。
②事前説明はないが、地方制度調査会に意見は伝えており、議論の内容は把握している。

問 現都知事に立候補要請を行った経緯は。

答 他の区長との話し合いの結果である。

問 羽田空港荒川沿い新ルートについて。

①1月2日の羽田空港事故原因の徹底究明と、国際線の成田空港移行と新ルートの見直しを。
②航空機騒音等について区民世論調査すべき。
③区独自の二重窓設置助成を行うべきでは。

答 ①衝突事故は国が検証しており、今後も安全対策と情報提供を国に求めていく。飛行ルート運用について国に要請する考えはない。
②ここ数年、羽田空港周辺で落下物は確認されていない。今後必要があれば検討していく。
③航空行政は国の所管であるため、騒音対策に関しても国の責任で行うべきと考える。

問 教育行政の充実について。

①教職調整額の増よりも時間外手当の支給を。
②中学校全学年で35人学級、小学校1年生から30人学級の実施を国や都に要請すべき。
③区費で学年アシスタントを小学校1年生全学級に配置を。



教育行政の充実について

④義務教育無償化に向けた保護者負担軽減を。

答 ①国が教員の処遇改善のため検討を進めている。今後も国の取り組みを注視していく。

②国は35人学級の導入効果の検証を行い、検討するとしている。今後も国の動向を注視し検討していくため、国や都に要請する考えはない。

③学級運営は担任だけでなく様々な職員が連携して行っている。今後も担任の資質向上と、学校に在籍する教職員の連携を高めていく。

④就学援助制度により必要な金額を適切に支給している。予算の増額は財政負担と保護者負担のバランスを見極めて慎重に研究していく。

一般質問



将来に希望と可能性を見出せる区政の実現を

自由民主党
田島 寛之



問 プレコンセプションケア支援事業について、若者世代が当事者意識を持つことは容易ではない。稼働年齢になって後悔する人を減らすため、積極的な働きかけが必要である。現在の事業状況と今後の展開について、区長の所見を。

答 現在、相談体制の構築や検査費用の助成、アプリ「ルナルナ」に本区の特設ページを作り情報発信を行っている。また、区内の学校にポスターやチラシの配布、ホームページやSNSでの情報発信を行うことで若い世代に向けた事業の周知に取り組んでいる。今後は小中学生も対象にし、きめ細やかな情報提供を行っていく。

問 働きながらも子育てできる環境は出産に対し前向きに検討するために重要であり多様なニーズを踏まえた保育環境の整備が必要である。本区は待機児童ゼロを達成しているが、全ての家庭が希望通りに入園できているわけではない。保育サービスの今後の在り様についてどのように考えているのか。

答 保護者が希望する子育てができるよう保育施設の整備を進めていく。また、時代や社会情勢に合ったニーズを踏まえつつ、待機児童ゼロを継続しながら、安心して子育てできる環境を作っていく。

問 グローバル化が進む社会情勢の中で、英語教育は必要最低限のツールである。独自の取り組みにより成果を出している自治体も見受けられるが、本区の今後の取り組みや展望は。

答 英語によるコミュニケーション能力の向上は喫緊の課題であり、本区は学習用デジタル教科書の活用やALTの全校配置、教員への指導・助言や研修の実施等により、授業の質向上に向けた指導を行っている。引き続き、教育環境の整備と一層の学習環境の充実を図っていく。

問 サポートスタッフの充実やDX技術の活用等により教員の働き方改革は進められてきたが、人材不足解消には至っていない。これまでの改革の分析と、今後の方針は。

答 改革により、教員の時間外勤務は大幅に減少した。教員が働きやすい環境の整備は、結果として、子ども達のより良い教育に繋がる。今後も、学校教育の質の向上を目指し進めていく。

問 総務部と一本化された人権・男女共同参画推進センターの更なる推進を期待する。区民への一層の普及・啓発が重要だと考えるが、今後どのように進めていくのか、区長の所見を。

答 ワークライフバランス促進のため、講座や講演会を実施してきた。今年度は男性に向けた講座も開催する予定である。より多くの方が参加できるよう、会場での託児サービスの実施やオンラインでの受講等、工夫して啓発を行う。

問 厚生労働省が身寄りのない遺体の実態調査を始めるが、本区は今後、どのような動きを考えているのか。

答 本区では既に様々な事業を行い、地域社会の中で孤立することがないように取り組みを行っている。今後も、地域や事業者との連携を強化し、誰もが支え合いながら安心して暮らせる地域社会の実現に向け取り組んでいく。

問 自転車盗難件数の多さは本区の課題である。昨年に本区は集合住宅に防犯カメラを設置する実証実験を開始したが、地域の方の反応と今後の取り組みについて、区長の所見を。

答 地域の方からは、自転車盗難の抑止以外の効果も含め概ね好意的な意見をいただいている。被害件数の大幅な減少は確認できていないが、今後も効果を検証し、推移を見守っていく。



身寄り無き独居高齢者への新たな支援を！
公明党
中道 たかし



問 国の動向を踏まえた、身寄り無き独居高齢者への区の新たな支援の在り方について。

答 多くの方が施策の必要性を認識し、孤立せず安心して最期を迎えられる支援を推進したい。

問 高齢者の聞こえのコミュニケーション支援について。

①補聴器購入費の補助を拡充すべき。

②軟骨伝導イヤホンを区役所窓口を導入を。

答 ①都の補助内容や障害福祉サービス等制度とのバランスを考慮して助成内容を検討する。
②今後、導入自治体での効果等確認し検討する。

問 命と健康を守るワクチン接種について。

①HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者への勧奨強化と、男性対象者への周知啓発を。

②小児インフルエンザワクチン接種費用助成における接種対象者等への周知と手続きについて。

答 ①はがきを送付し勧奨する。プレコンセプションケア等も活かし積極的に周知啓発に努める。

②10月までに減額料金で接種できる予診票を対象者の保護者に送付し、SNS等で周知する。

問 2100年に向けた施策の展開にあたり、EBPMをどのように活用していくのか。

答 施策立案の段階で、ロジックモデルの構築や具体的成果指標の設定等に活用していく。

問 区外から人を呼び込むイベントを誘致することで、地域活性化に繋がると考えるが。

答 誘致については、地域活性化や区の魅力発信に繋がるものを検討していきたい。

問 災害時のトイレ確保について。

①公衆手洗所の耐震化と、民有地やトイレ空白エリアにおける整備の現状について。

②各家庭での携帯トイレ備蓄の啓蒙について。

③トイレトレーラーやトイレカーの整備の推進を。

答 ①地震による排水管損傷は少ないと考え

る。マンホールトイレ等を増設しており、今後も災害時に機能するトイレの整備等に努める。

②今後も携帯トイレについて積極的に啓発する。

③災害時の衛生環境確保のため研究したい。

問 新庁舎建設に伴う本庁舎周辺施設の活用等、中央地域の新たな賑わいづくりについて。

答 賑わいの維持・向上と、行政サービスの持続可能性確保との両立を目指し検討を進めたい。



会計年度任用職員の適正な待遇改善を求める
超党えどがわ
中野 ヘンリ



問 再任用を繰り返す会計年度任用職員を常勤職員として任用すること。再任用の回数上限を撤廃し公募は行わず、仮に実施されるとしても、現職者は職務経験を踏まえた勤務実績に基づく能力実証とすること。また、会計年度任用職員の適正な待遇改善・身分保障を求めるが、区長の所見を。

答 会計年度任用職員は従事する業務の性質を踏まえた採用である。常勤職員は、特別区人事委員会が実施する採用試験等を得て任用されるものであり、試験を経ずに常勤職員になることはできない。再任用は、平等扱いの原則を踏まえた均等な機会の提供や他自治体との均衡を図る必要があり、他自治体と同様、公募によらない再任用の上限回数撤廃は考えていない。また、公募の選考は、既に職務経験や実務実績に基づく能力実証を行っている。引き続き、国や他自治体の状況を注視し、適正な任用・勤務条件の確保に努めていく。

問 近年、江戸川区を含めた多くの自治体で投票率の低下・低迷が見受けられる。それを踏まえ、本区では投票率向上のため、どのような検討をしているのか。また、直近で行われる東京都知事選挙に向けた投票率向上のための具体的な取り組みは。

答 全国的に若年層の低い投票率が課題であり、各自自治体で地域の実情に応じた多様な取り組みを行っている。本区では区内高校生との街頭啓発や期日前投票所で高校生立会人の実施等に取り組んでいる。東京都知事選挙に向け、本区のキャラクターを使用した名刺サイズの投票済証の配布や、区内小中学校の全児童生徒に配布しているタブレット端末で選挙の基礎知識を学べる動画配信を行い、主権者教育の更なる充実を図っていく。今後も他自治体の取り組みを参考にしながら、継続的な啓発活動を行い、投票環境の整備・利便性の向上に努めていく。



次世代型乗合交通検討開始。子ども食堂の補助金継続。
無所属の会
間宮 由美



問 バス停が遠く日常の買い物や通院に苦労しているとの声が多くある。既存コミュニティ交通のように人がシステムに合わせるのではなく、交通システムが人に合わせる新しい形である「チョイソコ」や「SWATモビリティ」等のAIを使った次世代型コミュニティ交通システムの検討の開始を求める。

答 デマンド交通は、利用者のニーズに合わせ

て柔軟に対応できる交通システムであると認識している。当該事業の実施は、運賃収入や協賛等、地域の協力によって採算性確保の見通しを持てることが重要であると考えている。他自治体の成功例を参考にしながら、次世代交通システムについて研究していく。

問 子ども食堂の配食・宅食は不登校や障害のため一緒に会食できない子ども達にとって必要である。子ども食堂に対する配食・宅食への補助金について区は、コロナ禍の仕方ない措置であり、子ども食堂は対面で会話を楽しみながら食事をするのが本来の姿であると言うが、本来は貧困家庭の子どもに食事の機会を提供することが目的である。都は当該補助金を重要と考え、2分の1を補助するとしており、区の負担は2分の1の約400万円である。誰一人取り残さないためにも当該補助金の継続を求める。

答 子ども食堂の自主性を尊重し側面支援をすることで、子ども食堂が地域コミュニティの核となり、地域共生社会の一翼を担うことを期待している。また、補助金はコロナ禍における緊急的なものであったと認識しており、子ども食堂ネットワーク会議において、都の補助削減に伴い、区としても補助制度を廃止する方向性を説明した。本区では事業を推進するうえで国や都等の補助金を積極的に活用し、区の財政負担が生じる場合は目的や効果の検証を行い、持続可能な財政運営を目指す観点から、事業の今後の方向性や、様々なボランティア活動への支援との公平性等を総合的に判断して考えていく。



建築紛争予防条例の見直しを、樹木の保全には基準を
日本共産党
牧野 けんじ



問 ともに生きる江戸川区にふさわしい同性パートナーカップルの住民票記載を。

①同性パートナーの現在の住民票続柄欄は。

②続柄欄に「夫（未届）」等と記載する運用について、国の判断待ちとせず積極的に対応を。

答 ①希望があれば「同居人」と記載している。
②住民票は全国共通の制度であるため、記載内容の統一が必要と考える。

問 中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例の見直しについて。

①コロナ禍前後の条例対象物件の推移は。

②建築主の出席義務等、住民目線で見直しを。

③工事協定書案等を含む手引きの作成を。

答 ①コロナによる影響はなく、過去2年の報告件数は100件を超えている。

②建築主の説明会への出席義務はないが、必要性をみながら、紛争予防に取り組んでいく。

③住民に対しては個別の事情に対応している。

問 働き方改革に伴う区内バス交通の確保、充実について。

①区内路線の現状と、今後の運行維持について。

②路線バス運転手確保のため独自の支援を。

③コミュニティバス本格運行に向け取り組みを。

答 ①運転手不足のため減便と聞いている。利便性維持・向上に向け事業者と協議する。

②支援の必要性・財源等を検討し判断する。

③採算が立たない状況で実施は考えていない。

問 区内の樹木保全の仕組みづくりについて。

①総合レクリエーション公園の樹木について。

- ②都立葛西臨海水族園の樹木伐採について。
③樹木の「総量維持」の定義と実現の考え方は。
④植栽樹木数調査の実態や方法等は。また、樹木保全の指標として樹冠被覆率の視点を。
⑤樹木保全のためルールを早期に設けるべき。

答 ①利便性等を考慮し本数を増やしていく。
②整備に関し関係機関と情報共有を行っている。
③江戸川区みどりの基本計画を基に進める。
④公園や民間施設等の調査を関係各所に依頼している。既に効果的な樹形管理を行っている。
⑤江戸川区みどりの基本計画を基に保全する。



**自助近助に注視、防災対策を
別居親も学校行事へ参加!**
日本維新の会
丸山 れいこ



問 防災対策について。

- ①地区防災計画の内容を簡略化し早期作成を。
②避難所運営協議会の迅速な環境の整備を。
③防災意識向上に向け、防災用品の全戸配布を。
④緊急時医療情報・資格確認機能の現状認識と、災害時の薬剤師会との連携について。

答 ①自主防災組織の既存資料を活用する等、地域の特性に合わせ支援していく。

- ②訓練実施と協議会設置の重要性を啓発する。
③自助の重要性周知のため啓発に取り組む。
④緊急時医療情報・資格確認機能は把握しており、医療関係団体と連携して災害に備えたい。

問 共同親権導入後の教育現場の対応は。

答 法律改正の趣旨を学校に説明するとともに、子どもの最善の利益のため、保護者からの相談に対しても真摯に対応していく。



**教科書採択における
教育長の所見を伺う**
無所属
五十嵐 まさお



問 教科用図書採択における選定資料検討委員会等の委員選定や採択の方法は。また、採択にあたり教育基本法と学習指導要領の目標に沿ったものであるかどうかを観点の軸にすべきと考えるが、教育長の所見を。

答 教科書採択にあたり、教育委員が文部科学省の検定済み教科用図書の見本を読み込んで検討・協議している。その際、都の教育委員会が作成した資料や江戸川区教科用図書採択のための調査研究に関する細目に則り、学校関係者や保護者等で構成された選定資料検討委員会の意見、区民や教員からの意見等を参考にしている。今後も、教育基本法等の法令や学習指導要領に基づき、公正かつ適正な採択を行っていく。



**こども・若者を誰一人取り
残さない支援策の強化を!**
公明党
佐野 ともこ



問 困難な問題を抱える女性の支援について。

- ①女性支援基本計画の策定と女性支援ネットワークの構築を求めるが、区長の所見を。
②インターネットを活用した相談の実施を。

答 ①どちらも重要性を認識しており、策定・構築に向けて検討していく。
②オンライン相談を活用して、誰もが相談しや

すい体制を構築していく。

問 こども・若者を守る支援について。

- ①(仮称)江戸川区こども計画の早期策定を。
②計画策定にあたり、こども・若者を守るための周知啓発と居場所づくりを。

答 ①当事者への意見聴取や関係団体へのアンケート等を行い年度内の完成を目指していく。
②国の指針と当事者の声を踏まえ、こども・若者に寄り添った実効的な取り組みを推進する。

問 公共交通不便地域への取り組みと、デマンド交通の導入について、区長の所見を。

答 コミュニティ交通の実証運行を行ったが、採算性が課題で本格運行には至らなかった。他自治体の成功事例等を見ながら検討していく。

問 障害者差別解消法の改正による合理的配慮の提供義務化について、区長の所見を。

答 引き続き、障害者理解の啓発と合理的配慮への取り組み、相談体制の充実を図っていく。

問 がん検診について。

- ①本区のがん検診に、膵臓がん検査キットや腹部超音波スクリーニング検査の導入を。
②HPV検査単独法の長所と本区の取り組みは。
③胃がん検診受診者へ、大腸がん検査キットを送付する実証実験の成果と今後について。実証実験の成果と受診率向上の取り組みは。

答 ①情報収集に努め、慎重に見極めていく。
②受診者の負担軽減に繋がるが課題もある。安定的かつ効果的な実施に向け、検討していく。
③大腸がん検診の受診率向上に繋がった。今後は、SNSを活用した受診推奨を行っていく。

問 小中学校改築時の校庭舗装の考え方は。

答 様々な観点で研究を進め、環境や立地等を考慮した校庭整備の方法について検討していく。

総務委員会 主な議案審査内容

○令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第4号) ・多文化共生センターについて

委員より、多文化共生センターについて質問があり、執行部より、当センターは外国人アンケート調査の結果をもとに、外国人の生活支援を目的とした生活相談・交流機会の創出・日本語学習の3機能を備えた施設として、本年10月の開設に向け準備を進めている。SDGs推進センターに併設予定であり、正規職員2名、外国人支援コーディネーター等の会計年度任用職員4名の計6名で運営していくとの答弁があった。

これに対し委員より、区内在住の外国人が安心して生活ができるよう、当センターが有する3機能を軸に多文化共生を着実に進めていくこと。また、交流イベントについては、スポーツや音楽等を通じ誰もが気兼ねなく参加できるものとし、相互理解の促進を図ること。更に、職員については外国人材の活用等、状況に合わせて運営していくことが要望された。

○令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第4号) ・「Edogawa Beer Project」について

委員より、「Edogawa Beer Project」について質問があり、執行部より、寄付金を活用し実施する本プロジェクトは、ビールの製造・販売過程で多様な業務を生み出せる可能性に着目し、様々な事情で働くことが難しい方の雇用機会の確保に向け挑戦していくものである。今年度は、東京藝術大学とのプロジェクトチームを発足し、持続可能なビジネスモデルを検討していくとの答弁があった。

これに対し委員より、就労が困難な方が安心して働くことができる仕組みを整え、周囲の理解が進むよう周知していくこと。また、本プロジェクトの成功に向け、全庁で知恵を出し合い取り組むこと。更に、アルコールを扱うという点でネガティブな意見が多く寄せられる懸念もあるため、本プロジェクトの目的や意義を正確に示すよう要望された。

議員から提出された議案 —意見書は各関係機関に送りました—



○江戸川区議会ハラスメント根絶条例 ○災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築 への支援を求める意見書

〔総務大臣、デジタル大臣、国土交通大臣 あて〕

いつどこで発生するかわからない災害に対して、特に防災直後は情報が大変に混乱する中で、被災者の命を救うために、1分1秒も無駄にはできない。その活動を大きく阻害する偽情報の拡散防止は喫緊の課題である。よって、政府に対して、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に向けての支援の積極的な推進を求める。

詳しくは、江戸川区議会ホームページをご覧ください。

アロハシャツを着て友好議会協定をPR!

ホノルル市議会と友好議会協定を結んでいる江戸川区議会では、ハワイ文化の発信と友好議会のPRのため、5月から10月までの期間、アロハシャツを着用して委員会に出席することを認めています。

江戸川区議会は令和4年の友好議会協定締結以降も、ハワイ州マウイ島の復興支援のため寄付を行ったほか、ホノルル江戸川区民会設立総会や日本ハワイ姉妹サミットへ参加する等、関係を深めてまいりました。これからも、両都市の繁栄のため互いに協力し、更に友好関係を深めてまいります。



■区議会広報委員会の様子

議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記の QR コードからもご覧になれます。



令和 6 年第 1 回臨時会

■全会一致となった議案等の審議結果

件 名			結果
区長提出議案	予算	令和6年度江戸川区一般会計補正予算（第3号）	可決
	報告	専決処分した事件の報告及び承認について（令和6年度江戸川区一般会計補正予算（第2号））	承認
		専決処分した事件の報告及び承認について（江戸川区特別区税条例の一部を改正する条例）	

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



■5月24日議決分



■5月27日議決分

令和 6 年第 2 回定例会

■全会一致となった議案等の審議結果

件 名			結果
区長提出議案	条例	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決
		鈴木青少年の翼基金条例	
		江戸川区特別区税条例の一部を改正する条例	
		江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
		江戸川区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
		東京都市計画事業瑞江駅北部土地区画整理事業施行規程を廃止する条例	
		東京都市計画事業一之江駅西部土地区画整理事業施行規程を廃止する条例	
		江戸川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	
		江戸川区営住宅条例の一部を改正する条例	
		江戸川区立学校設置条例の一部を改正する条例	

件 名			結果
区長提出議案	契約	春江橋架替工事（その3）請負契約	可決
		春江橋架替工事（その2）請負契約の変更について	
議員提出議案		災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	可決
請願・陳情	4号	全議員及び全会派の政務活動費の支出に係る支払明細書及び領収書等を江戸川区議会ホームページに公開を求める陳情	趣旨採択

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



■6月28日議決分

意見が異なった議案等に対する各会派の態度（○…賛成、×…反対）

※1 議長を除く

件 名			自民	公明	超党	無会	共産	維新	無所属(50音順)	結果
			12人※1	12人	6人	5人	4人	2人	1人 1人	
区長提出議案	予算	令和6年度江戸川区一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	× ×	可決
	条例	江戸川区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○ ×	
	その他	施設の買入れの変更について	○	○	○	○	×	○	○ ○	

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、超党…超党えどがわ、無会…無所属の会、共産…日本共産党、維新…日本維新の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの			付託委員会
34号	自然を破壊している葛西臨海水族園建て替え計画への対応に関する陳情	生活 振 興 環境委員会	
35号	スーパー堤防事業に代わる耐越水堤防の建設を求める陳情	建設委員会	
36号	都市計画道路補助第283号線拡幅計画の撤回を求める陳情	建設委員会	
37号	接種台帳の保存期間延長に関する陳情	福 祉 健 康 委員会	
38号	江戸川区ホームページによるお問い合わせ受付に関する陳情	総務委員会	
39号	篠崎公園地区高台まちづくりの模型に浸水時の水面を透明な板等で追加することを求める陳情	建設委員会	
40号	補助第288号線のボックスカルバートをやめて道路を堤防上面に設置することを求める陳情	建設委員会	
41号	令和5年の遺体放置事件についての百条委員会の設置を求める陳情	議 会 運 営 委員会	
42号	中学校英語スピーキングテスト結果の令和7年度都立高校入試への活用中止に関する陳情	文教委員会	
43号	子ども達に豊かな学びのスタートを保障することを求める陳情	文教委員会	
44号	教職員の増員で、少人数学級推進、働き方改革を求める陳情	文教委員会	
45号	図書館における既存図書のテキストデータ化について、恒常化を求める陳情	文教委員会	

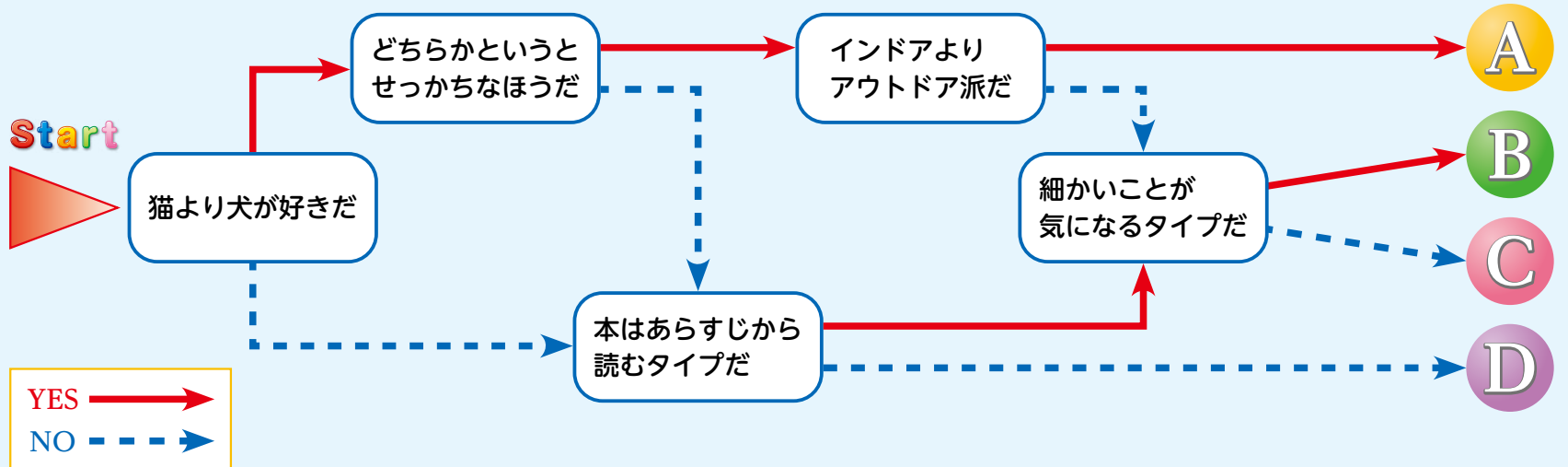


あなたはどのタイプ？

議会広報診断



江戸川区議会では、区議会だよりや区議会ホームページ等で議会に関する情報を発信しています。
今回は、皆さんの生活に深く関係のある「議会」の動きを知るための方法をタイプ別にご紹介します。ぜひチェックしてみてください！



A

タイプのあなたは…

傍 聴

本会議や委員会を直接見ることができます。
傍聴の手続きは簡単で、必要な持ち物はありません。本会議で使用する議場の傍聴席には、手話通訳モニターや車いす用階段昇降車等の設備が整っており、どなたでも傍聴することができます。ぜひ、議会の緊張感を体験してみてください。



B

タイプのあなたは…

インターネット中継

本会議や予算・決算特別委員会の様子をインターネットで生中継しています。ご自宅にしながら、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等で見ることができ、過去の映像は見やすいようチャプターを付けて録画配信しています。お好きな時間や場所で会議の様子をご覧ください。



C

タイプのあなたは…

区議会だより



本会議の内容をはじめ、議会の活動をお知らせしています。要点をまとめて掲載しているため「議会について興味があるけど、何を見ればよいのかわからない」という方におすすめです。より具体的な内容は区議会ホームページに掲載されていますので、併せてご覧ください。

※目が不自由な方向けに、音声版もご用意しています。



D

タイプのあなたは…

会 議 録

会議録には、議会の進行や議員の発言等が詳細に記載されています。本会議録は図書館等で閲覧することも可能ですが、おすすめは区議会ホームページからの閲覧です。発言者やキーワード等で詳細な検索が可能であり、中継されていない委員会の内容も確認できます。知りたい情報を簡単に見つけることができるので、ぜひご利用ください。



令和6年第3回定例会開催予定

※日程は変更になる場合があります。

9月19日(木)	………	本会議(議案上程、委員会付託)
25日(水)	………	本会議(一般質問)
26日(木)	………	本会議(一般質問)
30日		
10月1・3・4・7・8・10・15日		決算審査
16日(水)	………	常任委員会(議案審査)
17日(木)	………	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
25日(金)	………	本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

江戸川区議会ホームページもチェックしてみてください



- ・令和4年にリニューアルし、見やすく親しみやすいデザインになりました！
- ・子ども向けのページや議会用語の解説ページもあります！

江戸川区議会

区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎島村 和成 ○関根 まみ子
笹本 ひさし 小林 あすか 小俣 のり子